

しもつけの環境

環境状況報告書

平成29年度版【平成28年度実績】



トウサワトラノオ



キツリフネ



オオイヌノフグリ



ジャコウアゲハ



ショウジョウトンボ



ノアザミ



龍興寺のシラガシ



平成30年1月
下野市

はじめに

本市では、環境の保全及び創造について、基本理念を定め、並びに市、市民、事業者及び滞在者の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の市民等の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とし、平成24年3月に「下野市環境基本条例」（以下「基本条例」という。）を制定しました。

基本条例第12条においては「環境の状況及び環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書」を定期的に作成し公表するものと定められています。

また、平成25年3月に策定した「下野市環境基本計画」（以下「基本計画」という。）の中では、環境調査・測定結果や計画の進捗状況、市民等の環境保全活動などのさまざまな情報を体系的に整備し「しもつけの環境」として市民等へ提供、発信することを取組のひとつとして掲げています。

この「しもつけの環境」は、基本条例と基本計画に基づき、下野市の環境状況や基本計画の進捗状況などをまとめ、皆様にお知らせする報告書として作成したものです。

本報告書を踏まえて今後の取組に反映させ、市民の健康で文化的な生活を将来の世代にわたって確保し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を推進します。

目次

1	計画の概要	(1) 目的	1
		(2) 計画の位置づけ	2
2	計画期間		2
3	取組（施策）の体系		3
4	取組の状況	個別目標 1-1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生	5
		個別目標 1-2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生	8
		個別目標 1-3 環境にやさしい産業の推進	9
		個別目標 1-4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり	12
		個別目標 2-1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上	14
		個別目標 2-2 安心してらせる安全で快適な生活環境の確保	16
		個別目標 2-3 放射性物質による環境汚染への対応	19
		個別目標 3-1 ごみゼロ社会の形成	20
		個別目標 3-2 資源が循環するしくみづくり	23
		個別目標 4-1 省エネの推進	24
		個別目標 4-2 創エネ・蓄エネの推進	26
		個別目標 4-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進	28
		個別目標 5-1 環境学習・環境保全活動の推進	30
		個別目標 5-2 環境パートナーシップの形成	31
		個別目標 5-3 環境調査・環境情報の整備と発信	32

1 計画の概要

(1) 目的

今日の環境問題や課題に対応し、持続可能な地域社会の構築をめざしていくため、環境の保全と創造に向けた長期的な目標とその実現に向けた施策や取組を明らかにし、総合的・計画的な展開を進めていくことにより、基本条例に掲げた基本理念の実現を目的として、基本計画を策定しました。

下野市環境基本条例の基本理念

- 1 環境の保全及び創造は、健全で恵み豊かな環境が市民等の健康で文化的な生活に欠くことができないものであることにかんがみ、本市の特長を生かしつつ、この環境を将来にわたって維持し向上させ、現在及び将来の市民等がこの恵沢を享受できるよう積極的に行うものとします。
- 2 環境の保全及び創造は、歴史と伝統の下、人と自然が共生し、市民等が快適に生活できる都市と農村の実現を目的として、生物多様性の確保に配慮しつつ、自然環境、歴史的・文化的環境、生活環境及びまちの景観を良好な状態に維持し、向上させることによつて行うものとします。
- 3 環境の保全及び創造は、環境への負荷の少ない持続可能な地域社会を構築することを目的として、市及び市民等の公平な役割分担と協働の下に積極的に行うものとします。
- 4 地球環境の保全は、人類を含む生物すべてにかかわる課題であるとともに、市民等の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上での課題でもあることにかんがみ、すべての事業活動及び日常生活において積極的に推進されるものとします。

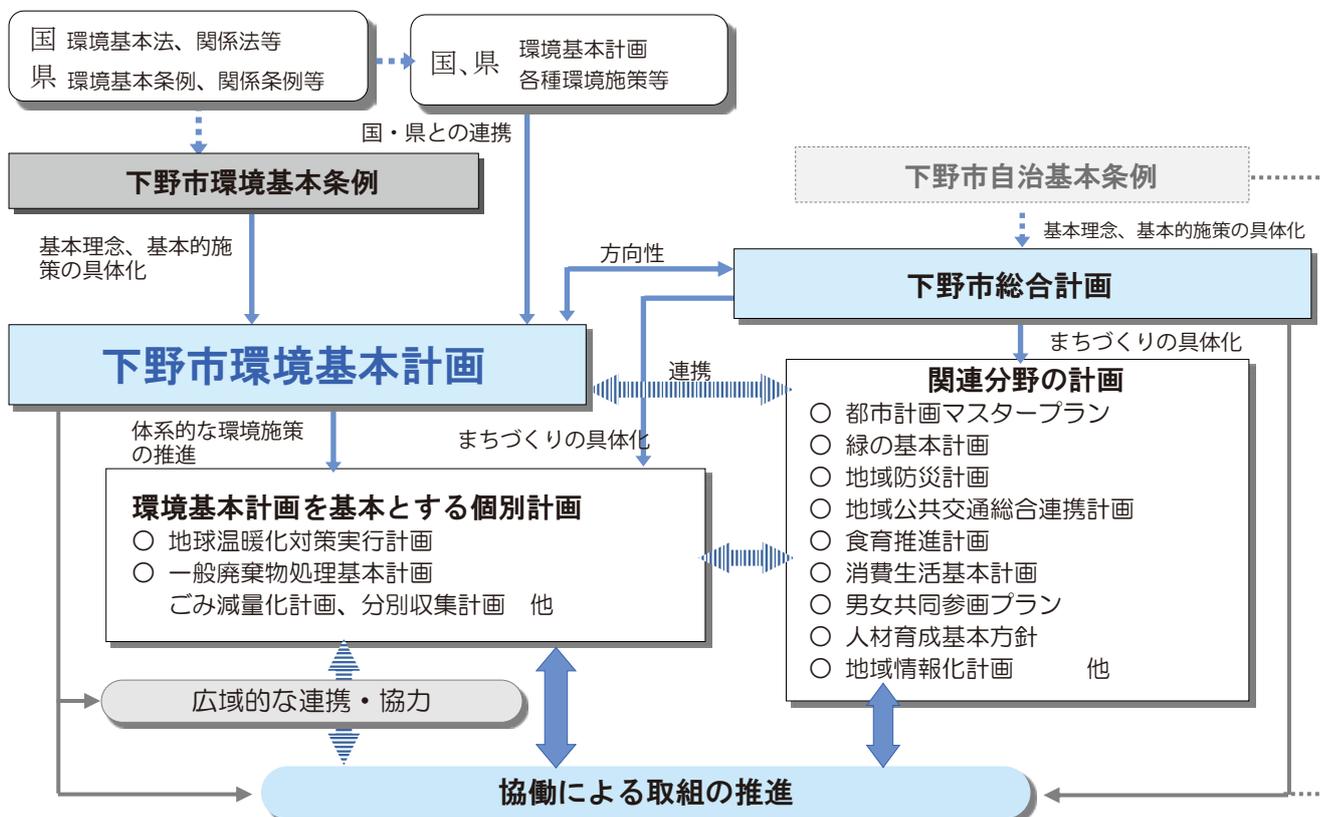


蔓巻公園沿いの姿川

(2) 計画の位置づけ

基本計画は、基本条例第 11 条に基づいた環境分野における最も基本となる計画です。

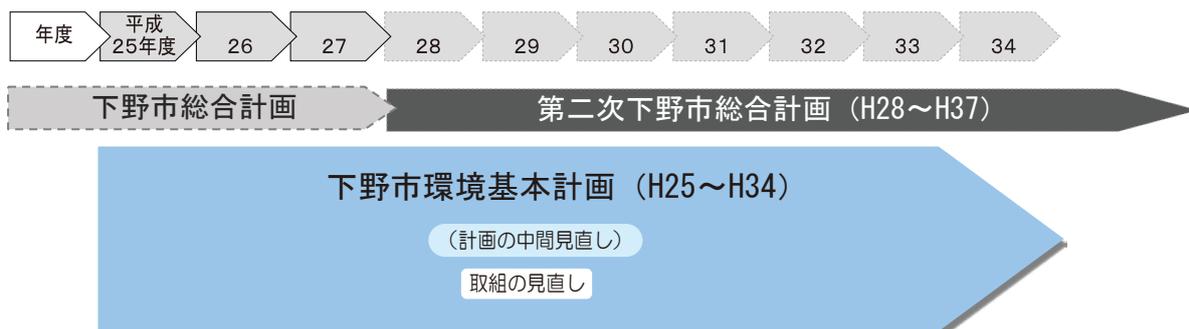
市の取組だけでなく、市民等との協働による取組の方向を示し、みんなが環境に関心を持ち、環境に配慮し、環境保全行動や活動を進めていくための「道しるべ」としての役割を果たしています。



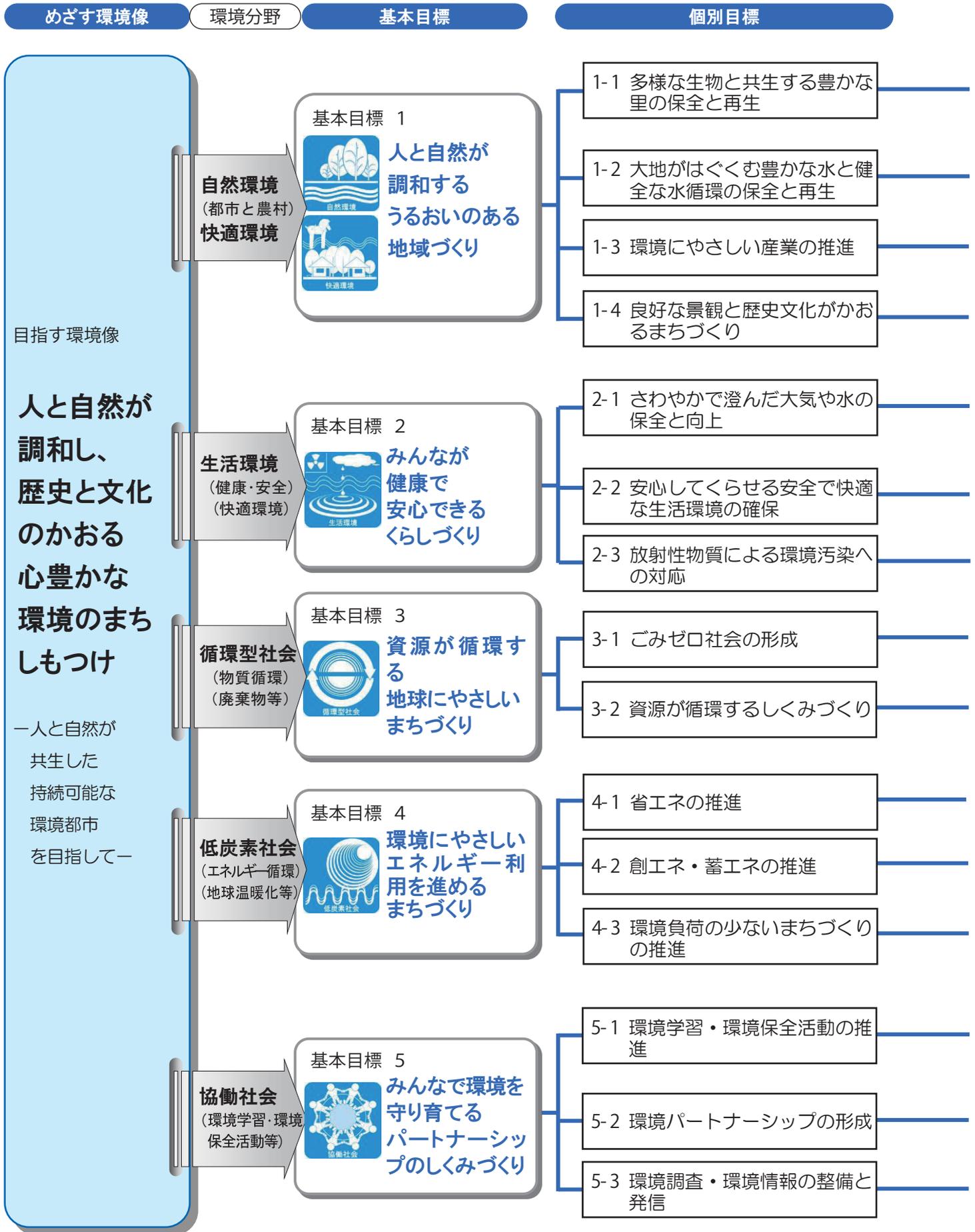
2 計画期間

基本計画の期間は、平成 25 (2013) 年度から平成 34 (2022) 年度までの概ね 10 年間を設定しています。また、計画に掲げられた重点的取組や施策、事業内容などについては、総合計画やその実施計画の見直しと連携して、点検・見直しを行います。

なお、計画策定後の社会情勢や環境の変化に対応していくほか、総合計画との連携を図っていくために、本計画期間の中間年である平成 29 (2017) 年度に計画の中間見直しを行います。



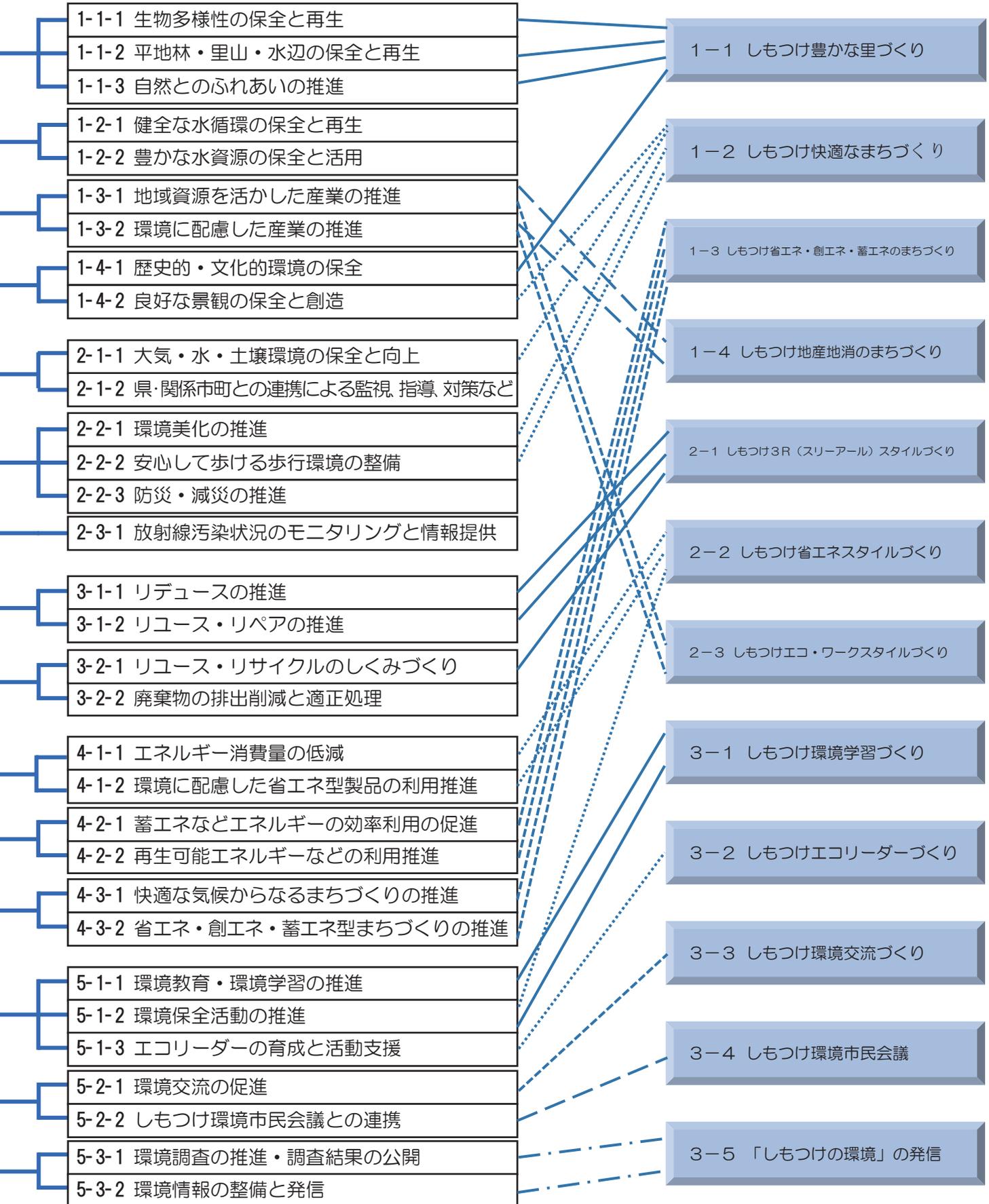
3 取組（施策）の体系



取組(施策)の方向

協働の取組(協働プロジェクト)

(市及び市民等が連携した取組)



4 取組の状況

個別目標 1-1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生

1-1-1 生物多様性の保全と再生

環境指標	水辺や田んぼの生きもの				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	水辺や田んぼの生物多様性を向上し、在来生物が生息する環境の保全と再生を進めています。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
★生物生息状況の調査(水辺の生きもの調査を含む)			※★は市の重点的施策		
○田んぼの生物多様性の向上					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

下野市トウサワトラノオ保存会（南河内土地改良区、東根自治会、小山北桜高校、吉田西小学校、下野市自然に親しむ会、下都賀農業振興事務所）によるトウサワトラノオの保護とその生育環境を守る活動（開花後、梅雨明け後、秋の雑草繁茂後の年3回程度、草刈り及び枯れ草搬出等を行い、雑草対策としてかんがい期（5月～8月）の保全地への湛水の水管理や除草剤の散布）を実施しました。

トウサワトラノオの観察と学習会（小山北桜高等学校によるトウサワトラノオの観察研究及び結果発表や、吉田西小学校の校庭にあるビオトープに小山北桜高等学校が育成したトウサワトラノオを移植し、観察や学習会を行いました。また、開花時に行った保存会総会終了後の昼食と合わせて「花を見る会」を開催しました。）

地域の田畑での農道の補修や畦畔の除草作業等を実施し保全活動を行いました。

【平成28年4月～平成29年3月 24団体 504人参加】

トウサワトラノオ

※環境省における絶滅危惧種、最高ランクの「絶滅危惧1類」に指定されています。サクラソウ科の多年草植物で、開花時期の5月頃には、白く可憐な花を見ることができます。名前の由来は、中国で多く生息することから、同国を意味する「唐（トウ）」と湿地を表す「サワ」、さらに花の咲き方が「虎の尾」に似ており、この名が名付けられたとされています。



トウサワトラノオ観察会

◆市の取組

有害鳥獣対策として捕獲檻の貸出を行いました。【貸出件数7件】

○平成29年度の主な実施内容

これまで、国内で唯一のトウサワトラノオ生息地とされてきた愛知県の豊川宝飯のある豊川市や蒲郡市と保存活動のための交流事業を行います。また、トウサワトラノオ保存会と市内企業が連携しながらブランド菓子等を開発し、希少な群落をPRするとともに、市内の豊かなほ場をアピールします。

1-1-2 平地林・里山・水辺の保全と再生

環境指標	市民等による平地林(重点地点)の管理					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位
取組のめやす	—	重点地点8地点(H34) H27以降、年1地点ごとに管理を実施		1	2	件
重点地点数	—	2	2	2	4	件
達成率	—	—	—	200.0	200.0	%
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)
平地林の実態調査				—	H27までに実施	実施済
平地林マップ作成と活用				—	H27までに作成	作成済
重点的に進めていく協働の取組内容						
★水辺環境の実態調査 ※★は市の重点的施策 ★平地林の実態調査、平地林マップづくりと活用 ★平地林の保全・整備 ○河川などの生物の生息学習会 ○県南「エコもり地域推進協議会」との連携による保全活動の展開						

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

平地林の実態調査及びマップの作成は現況から森林計画や森林伐採届等を整理し作成しました。

平地林の管理については天平の丘公園のボランティア清掃をはじめ、県の補助事業を活用し地蔵山と上台の通学路の保全管理を実施しました。

今後、平地林のマップをどのように活用していくか市民及び市民団体の求めに応じて随時検討していきます。

◆市の取組

市のイベントや小学校で木工教室を開催しました。

【10月23日(産業祭)81名参加 1月22日(消費者まつり)74名参加】

【小学校木工教室 1月～2月 吉田東小・緑小・国分寺東小】

通学路の下草刈りを実施しました【9月12日～14日】

○平成29年度の実施内容

森林伐採届出による実態調査を実施します。

ボランティアによる平地林の清掃及び補助事業を活用した整備を実施します。

1-1-3 自然とのふれあいの推進

環境指標	学校林・学校田畑の整備					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位
取組のめやす	—	16(H34)				校
整備校数	12(H24)	12	12	12	12	校
達成率	—	75.0	75.0	75.0	75.0	%
重点的に進めていく協働の取組内容						
○学校林・学校田畑の整備と自然学習の場としての活用 ○自然とのふれあいの場づくり						

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

各学校の授業や総合的な学習の時間を使っての自然観察学習会を実施しました。

各公民館において各種の自然体験講座を実施しました。自然に触れたり、自然を観察したりすることで身近な動植物などへの理解を深め、市民の環境への関心を高められました。



自然観察会の様子

◆市の取組

田植え、稲刈り、芋掘りなどのアグリ体験を実施する小学校、認可保育園に対して事業費の一部を補助しました。

【補助交付対象 小学校11校 保育園5園】

○平成29年度の実施内容

学校林・学校農園の利用、地域の田畑を借用し、栽培から収穫までを行い実際に児童が調理し食するなど、食の大切さを学びます。

個別目標 1-2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生

1-2-1 健全な水循環の保全と再生

1-2-2 豊かな水資源の保全と活用

○平成28年度の取組状況

◆市の取組

市内小学校の4年生と公民館講座とのコラボ事業により、水道施設見学会を実施しました。

リクエスト講座にて、下野の水の現状について説明しました。

「下野のおいしい水」について、るるぶ下野での紹介、道の駅しもつけでの販売を実施しました。

「下野水道ニュース」を公民館、図書館、公共施設等に設置し、また、ホームページへ掲載しました。

水源井戸からの水道事業認可を得ている揚水施設より水の汲上を行いました。

水道水源の定期的な水質検査を実施しました。

【配水施設6箇所(9項目)：一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物(全有機炭素量TOC)、PH値、味、臭気、色度、濁度】

環境負荷の低減のため農薬や肥料の適正使用をホームページ等で周知しました。

生物農薬やフェロモン剤の利用による広域防除、農薬被ばく減少、使用農薬を減らす取組みを支援するために、低農薬栽培支援事業補助金を交付しました。

【補助金交付団体 2団体】



「夕顔のしずく、下野のおいしい水」

○平成29年度の実施内容

「下野のおいしい水」の普及啓発活動や水道施設見学会を実施します。

揚水施設の適正な利用を進めます。

水道水源の水質検査を実施します。

個別目標 1-3 環境にやさしい産業の推進

1-3-1 地域資源を活かした産業の推進

環境指標	食育の推進 ※取組 5-1-1 環境教育・環境学習の推進の指標を兼ねる				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	家庭や学校、地域での食育や地元食材の体験学習が進められ、食と農と環境が調和したまちづくりが進められています。				
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
学校給食への安全・安心な下野市産農畜産物や加工品の活用	推進中	推進	推進中		
重点的に進めていく協働の取組内容					
<p>★学校と家庭、地域が連携した食育の推進 ※★は市の重点的施策</p> <p>○学校にクリ、柿などの果樹を植栽(栽培から収穫・味覚までの体験)</p> <p>○他の地域との比較による食料自給に関する授業</p>					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

学校農園や地域の田畑を借用し、実際に児童が野菜の栽培や田植えをし、収穫・調理の体験を行いました。小学校では、授業の一環として総合的な学習の時間を利用してながら食育の推進を図ることができました。



収穫体験（田植え・稲刈り）

◆市の取組

道の駅しもつけの月別野菜売上を基にし、消費者にとって利用しやすい旬の野菜レシピを作成し、公共施設、道の駅・直売所、各種の健康教室等において紹介、配布を行いました。また、市のホームページに掲載するなどの啓発活動により、多くの市民に地産地消の推進を図ることができました。

○平成29年度の実施内容

各学校において引き続き学習の時間を活用して、食育の推進を図っていきます。
各施設、各種教室でのレシピ配布による地産地消の推進を図っていきます。

環境指標	地産地消のブランドづくり				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	下野市産農畜産物や加工品の地産地消が進められ、安全・安心な食材としてのブランド化をめざして、生産が進められています。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
★地産地消のブランドづくり			※★は市の重点的施策		
★下野市産農畜産物・加工品の活用、学校給食への安全・安心な下野市産農畜産物の活用					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

下野ブランドについては、特産品の加工品3点、農産物1点、合計4点を新規認定しました。【下野ブランド認定数32点】

下野ブランドを市内外にPRするため、平成28年10月2日に道の駅しもつけを会場に「しもつけBrandフェア」を開催し、約2,000名の来場者で賑わいました。

市の特産品及び文化財等地域資源を下野ブランドとして認定しました。

また、市内イベント等でのPRに加え、キャラバン隊による東京圏でのPRを行い県外での認知度の向上を図ることができました。

地元農産物を学校給食に活用した場合に助成事業を実施しました。

【学校給食地元農産物供給促進事業 市内小学校12校4,885人】

かんぴょう産地支援事業や第5回しもつけかんぴょうまつりでは、運営補助など地域特産品の生産と普及への支援を行いました。

【かんぴょう産地育成支援事業 施設・機械整備補助6人】

【苺良質苗生産促進事業2団体】



しもつけかんぴょうまつり

◆市の取組

天平の花まつり、産業祭等のイベント時にパンフレット、ポスター・のぼり旗等によるしもつけブランドのPR、下野市キャラバン隊による東京圏でのPRを行いました。

○平成29年度の主な実施内容

新たな下野ブランドの発掘及び認定審査会の実施、パンフレットの作成、「しもつけBrandフェア」の開催、下野ブランド案内看板の設置等を予定しています。

また、学校給食への地元産農産物の活用について助成事業の実施を予定しています。

1-3-2 環境に配慮した産業の推進

環境指標	エコ(ショップ&オフィス)の普及(登録数)				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	—	増加	増加	増加	増加
エコショップ登録数	15(H24)	14	14	14	14
エコオフィス登録数	54(H24)	82	84	84	80
達成状況	—	増加	増加	現状維持	減少
その他の指標			計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)
環境配慮の推進			—	—	—
認定農業者経営面積(1人当たり)㎡			52,020(H23)	58,000(H27)	55,220
エコポイント制度			—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容					
<p>★エコ(ショップ&オフィス)の普及(登録数) ※★は市の重点的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然環境や快適環境などの保全・再生・創出の推進 ○公害の未然防止、生活環境保全対策の推進 ○省資源・省エネ対策の推進 ○市及び市民等の環境配慮行動、環境保全活動などへの協力 ○環境関連産業の育成推進 ○エコファーマー、エコプロダクツなどの普及 					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

ごみ減量化・リサイクルの推進、並びに環境保全に積極的に取り組むエコショップ、エコオフィスの登録事業者を募集し、環境にやさしい取組の普及を促すために、エコショップ・オフィス登録事業者のエコな取組状況をホームページに掲載しました。

農業者の経営状況などを確認し認定農業者としての新規認定や再認定を行いました。また、認定された農業者に対して農地のあっせん情報や助成事業を行いました。

【認定農業者数 288人】

◆市の取組

都市再生整備計画に基づき、三王山ふれあい公園の整備工事を実施するにあたり、希少動植物の保護等の観点から、樹木の伐採を必要最小限にとどめました。

エコファーマーの認定者や特別栽培農産物に取り組む農業者を支援するために、環境保全型農業直接支払交付金を農業者に対し交付しました。【交付対象 2団体4名】

○平成29年度の主な実施内容

エコショップ・エコオフィス登録事業者募集と事業者の取組状況などの情報を更新します。

個別目標 1-4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり

1-4-1 歴史的・文化的環境の保全

環境指標	国指定史跡の公有化率					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位
取組のめやす	—	62.0(H27)				%
公有化率	60.7(H23)	60.7	60.7	63.8	65.5	%
達成率	—	97.9	97.9	102.9	—	%

重点的に進めていく協働の取組内容

- 文化財保存会によるイベントなどの企画・実施
- 歴史的景観を生かした植物の再生
- 史跡地の除草活動

○平成28年度取組の状況

◆協働の取組

国史跡が学区内にある小学校において除草作業及び体験学習を実施しました。

- ・下野国分寺跡除草清掃作業 国分寺西小 60名（児童・PTA）
- ・下野薬師寺跡（紅花畑）の除草作業 薬師寺小 290名（児童）

除草清掃作業を通して、身近にある史跡や郷土の歴史を学び、郷土愛を醸成することができました。



除草清掃作業



史跡まつり

◆市の取組

グリムの館や薬師寺歴史館などで下野市ふるさとかるたや、下野市の伝説～ふるさとめぐりの旅～の販売を行い、市内に古くから語り伝えられている伝説や民話、暮らしの知恵の発信を行いました。

○平成29年度の実施内容

国史跡が学区内にある小学校による除草作業及び体験学習を実施します。

1-4-2 良好な景観の保全と創造

環境指標	しもつけの景観選定				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	—	—	—	選定・発信	—
達成状況	—	未選定	未選定	未選定	未選定
その他の指標			計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)
しもつけ景観マップの作成			—	H27までに作成・発信	未作成
重点的に進めていく協働の取組内容					
<ul style="list-style-type: none"> ○景観マップづくり、しもつけ景観20選 ○耕作放棄地の解消と環境保全機能の向上 					

○平成28年度取組の状況

◆協働の取組

景観の選定にあたり、下野ブランドとして、自然部門に2点、観光部門に4点、歴史文化部門に史跡地等5点を下野ブランドのパンフレットに掲載し、平成28年10月2日に道の駅しもつけで開催された「しもつけBrandフェア」でPRを行いました。

市内の魅力的な景観や自然環境の素晴らしさをPRするため、下野市観光協会主催によりフォトコンテストを開催しました。

景観の形成のため、農村環境保全会による植栽を実施しました。

【6月～9月 6地区で実施】

◆市の取組

自治医科大学周辺地区などの地区計画により「建築物の用途の制限」「敷地面積の最低限度」「壁面の位置の制限」「形態又は意匠の制限」を定め、建築物指導基準による規制と誘導を進めました。

○平成29年度の主な実施内容

新たな下野ブランドパンフレットの作成、イベント「しもつけBrandフェア」の開催、下野ブランド案内看板の設置等を予定しています。

市内の魅力的な景観や自然環境の素晴らしさをPRするため、下野市観光協会主催によりフォトコンテストを開催する予定です。

農村環境保全会において、地域資源である農地、水路、農道などの軽微な補修により質的向上を図る協働活動や、植栽による景観の形成を行います。

個別目標 2-1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上

2-1-1 大気・水・土壌環境の保全と向上

環境指標	水質環境基準(BOD) ※取組 2-1-2 県・関係市町との連携による監視、指導、対策などの指標を兼ねる				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	全調査地点での基準達成と維持・向上				
達成状況	基準達成(H22)	達成	達成	達成	達成
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
大気環境基準(Oxを除く)	達成(H22)	維持・向上	達成		
地下水汚染環境基準	超過地点有(H22)	全地点達成	超過地点有		
下水道普及率	71.5%(H23)	73.9%(H27)	76.3%		
生活排水処理率	86%(H22)	90%以上(H33)	94.6%		
重点的に進めていく協働の取組内容					
○大気環境、水環境、土壌・地下水環境の監視と汚染防止					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

違法な野焼きや水質汚濁公害について、市民等からの通報を受け随時職員による対応を実施しました。通報や職員の見回りが生活公害の早期発見に繋がっています。

公害苦情受付件数の推移

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大気	13	38	17	20
水質	2	4	0	4
騒音	4	9	1	3
振動	2	2	6	0
悪臭	25	3	6	1
土壌	1	4	1	1
その他	67	49	41	54
合計	114	109	72	83



違法な野外焼却の状況

※ 写真の野焼き行為は、環境課から行為者への指導後、速やかに消火されました。

水質汚濁公害対策として工業団地排水の水質調査を実施しました。測定値は環境基準を満たしており、環境への影響は少ないと考えられます。

工業団地調整池等の水質調査結果（各年7月調査）

単位：mg/l (pHを除く)

測定地点		測定項目 (排水基準)	pH (5.8~8.6)	BOD (25)	SS (50)	窒素含有量 (120)	リン含有量 (16)	亜鉛含有量 (2)
下坪山工業団地調整池	平成28年度		7.4	10	7	27	0.6	0.2
	平成27年度		7.4	7.1	6	30	0.1未満	0.1
西坪山工業団地調整池	平成28年度		7.3	18	2	8.5	2.5	0.1未満
	平成27年度		7.1	11	8	4.6	0.7	0.1未満
柴工業団地調整池	平成28年度		8.0	4.6	14	6.1	0.7	0.1未満
	平成27年度		7.8	2.5	2	4.8	0.3	0.1未満
石橋第3工業団地 排水落ち口	平成28年度		7.6	8.7	12	5.8	0.6	0.1未満
	平成27年度		7.3	24	10	3.6	1.1	0.1

下水道未整備区域への公共下水道の整備 9.19ha（整備済延べ面積1,045.93ha）
 下水道未整備区域における浄化槽設置支援 浄化槽設置費補助金 17件

◆市の取組

騒音・振動、悪臭など生活公害の市民からの苦情に対し、「騒音規制法」「栃木県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、職員による行為者への指導等対応を実施しました。

市内の環境騒音測定を実施しました。

- ・自動車騒音測定 2か所 測定期間10月～3月（小山壬生線、栃木二宮線）
- ・一般環境騒音測定 3か所 測定期間1月～3月（旧国分寺庁舎、石橋公民館、柴公園）
- ・新幹線鉄道騒音測定 2か所 測定期間12月（小金井、薬師寺）

畜産業における悪臭防止対策を目的とした消臭剤等購入時一部補助を実施しました。【消臭剤購入費用の一部補助 27戸】

光化学スモッグ発生時、県から注意報等が発令された場合は関係各課に連絡し学校や体育施設などに注意喚起しました。

【光化学スモッグ注意報発令件数3件】

○平成29年度の主な実施内容

公害への早期対応、見回りの強化により公害防止に努めます。また、引き続き水質や騒音の測定を実施し、公害発生状況を監視します。

個別目標 2-2 安心してくらせる安全で快適な生活環境の確保

2-2-1 環境美化の推進

環境指標	家の周辺や道路の清潔さ(満足度)				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	60.3% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合が向上しています。			
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
近くの林や水辺の清潔さ(満足度)	38.3% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合の向上	—		
重点的に進めていく協働の取組内容					
★クリーン作戦など環境美化の推進 ※★は市の重点的施策 ○ごみの不法投棄防止・監視、ポイ捨ての防止 ○空地・空家の監視と保全					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

5月30日を中心とした「ごみゼロの日」に市内全域における自治会等による空き缶等の清掃活動を実施しました。

【実施自治会 129自治会 参加者 6,646名】【実施企業 40社 参加者 757名】

11月12日(土)に姿川クリーン作戦を実施しました。

地域参加型のイベントとして、環境美化に対する機運を高める契機となっています。

【参加人数 406名】



姿川クリーン作戦参加者による清掃活動

平美林会による天平の丘公園の清掃活動が実施されました。市内団体・市民の手により平地林の保全が行われました。

空地の所有者へ空地管理の啓発を行い、希望者を対象に雑草等除去受託事業を実施しました。近隣苦情からの受委託がほとんどであるが、空地の適正管理に効果を上げています。【雑草等除去受託面積 6,392㎡】



道路まで伸びた空地の雑草

◆市の取組

安全で快適な道路環境の維持向上を図り、道を愛する心を育むため、地域住民等のボランティア団体と道路管理者（市）が連携・協力して道路美化活動を行う「愛ロードしもつけ」を実施しました。

【登録数 44 団体、年間 6 回以上、延べ 267 回の活動】

道路の緑地帯、空地等に草花の苗、宿根の植付け、花木の苗を植栽し、花と緑のある道路環境の美化を図り、自然環境の保全、道路愛護思想を波及させるため、道路の「花いっぱい事業」を実施しました。

【8 団体、総延長 460m、参加人数 260 人】



花いっぱい事業による植栽

小学生による道路愛護活動、学校周辺の道路の美化活動及び緑地帯の花植栽活動を実施しました。

【10 小学校、総延長 12,500m、参加人数 2,500 人】

街路等を利用した緑や花づくり、緑地や並木の育成保護等を活動内容とする市内での緑化ボランティア団体に費用の一部を交付しました。

【交付団体 8 団体】

緑の少年団として県に登録し、緑化活動を推進している学校に対し、緑化活動の費用の一部を交付しました。

【緑の少年団 3 校 吉田東小・石橋小・国分寺西小】

○平成 29 年度の主な実施内容

県の環境美化運動を実施する予定です。【自治会 約 150 団体 企業 約 100 社】

姿川クリーン作戦を実施する予定です。【参加者 約 400 人】

雑草等除去受託事業を実施する予定です。【20 人 約 10,000 m²】

2-2-2 安心して歩ける歩行環境の整備

環境指標	歩道などの歩きやすさ(満足度)				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	47.2% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合が向上しています。			
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
路上喫煙の防止	—	条例の制定	一部実施		
重点的に進めていく協働の取組内容					
★歩行、自転車利用の安全確保			※★は市の重点的施策		
○路上喫煙の防止(条例化検討)					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

路上喫煙については近隣市町の条例や防止に関する啓発及び監視体制について情報収集を実施しました。条例制定の検討や監視体制の必要性を確認し、庁内の関係機関との協議を継続しています。

◆市の取組

駅周辺の自転車の放置を予防するため自転車駐車場の設置運営を行い、放置禁止区域の放置自転車撤去を実施しました。

【自転車駐車場年間利用者数 411,224 件 放置自転車撤去数 213 件】

ベビーカーや車いす等の利便性向上のため、施設・道路等のバリアフリー化を駅周辺や総合病院周辺を中心に整備推進しています。

子どもたちの通学路の安全確保を図るため、下野市通学路安全推進会議を開催しました。学校から提出された整備要望箇所の確認と現地点検、平成29年度に向けた安全プログラムの見直しについて検討を行いました。

【会議開催日 10月19日・2月9日 平成28年度の要望箇所：41 件】

都市計画マスタープランの改訂に伴い、歩行環境や適正な土地利用について「全体構想」の中の「交通体系整備の基本方針」「土地利用の基本方針」「居住環境整備の基本方針」でそれぞれ位置付けました。

○平成29年度の実施内容

路上喫煙の防止について、情報収集と庁内関係機関との協議を継続します。

個別目標 2-3 放射性物質による環境汚染への対応

2-3-1 放射線汚染状況のモニタリングと情報提供

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
○ 放射線及び放射線汚染状況に関する勉強会	

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

放射線測定モニタリングを「道の駅しもつけ」において毎日実施しました。
各放射線の状況について市のホームページを通じて情報提供を行いました。

◆市の取組

市内の各庁舎や学校などの公共施設について、月に1回の空間放射線量測定を行いました。

農産物については、市内での作物の生育状況により県と連携して随時測定を実施しました。

放射線の数値は安定しており、農産物についても基準値を超過するような数値は見られません。

【測定場所 旧国分寺庁舎、南河内図書館南側、旧石橋庁舎 市内公立保育園、市内小中学校】

空間放射線の状況

下野市内の空間放射線の状況について、国が定めた「放射性物質汚染対策特措法」における重点調査地域の指基準となる 0.23 マイクロシーベルト毎時を上回る地域は下野市にありませんが、市民・事業者向けに放射線量計の貸出を行っています。

現在の状況については、環境課ホームページよりご確認ください。

<http://www.city.shimotsuke.lg.jp/hp/page000007700/hpg000007614.htm>

○平成29年度の実施内容

県のモニタリングを含めて各公共施設等や農産物等を定期的の実施し、市のホームページを通じて情報提供を行います。

個別目標 3-1 ごみゼロ社会の形成

3-1-1 リデュースの推進

環境指標	3Rの普及活動				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	3R意識が普及し、ごみの減量化が進んでいます。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
○ 3R 活動の推進によるごみの発生抑制(リデュース)の推進、リユース・リサイクルの推進など、ごみ減量意識の普及・啓発					

※3Rとは、資源の無駄遣いをなくし、ごみを減らす【Reduce】、使えるものを再使用する【Reuse】、そして資源を再生利用する【Recycle】のことで、環境と経済を両立する循環型社会の構築にかかすことのできないものと言われています。

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

国・県・市による小中学生を対象とした3R活動のポスターコンクールの作品を募集しました。

市民へのゴミの分別の仕方を広報誌や回覧を通じて周知し、ゴミの分別に対する理解を深めました。

◆市の取組

イベント時において3Rのポスター等の掲示による普及活動を実施しました。

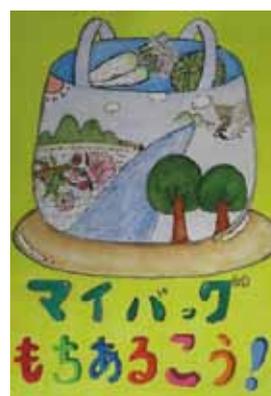
平成28年度下野市ごみ減量化ポスターコンテスト最優秀作品



【小学校低学年の部】
吉田西小3年
蛭田 明輝さんの作品



【小学校高学年の部】
古山小6年
伊藤 愛唯さんの作品



【中学校の部】
南河内第二中1年
三村 温さんの作品

○平成29年度の主な実施内容

ごみの分別アプリを導入します。

国・県・市主催によるポスターコンクールの周知をし、作品を募集します。

環境指標	市民1人1日当たりごみ排出量(資源物、事業系ごみを含む)					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位
取組のめやす	—	721(H27) 715(H28) 698(H33)				g/人・日
実績値	739(H22)	716	704	728	719	g/人・日
達成率	—	100.7	102.4	99.0	99.4	%
その他の指標			計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)	
家庭系ごみ(単位g/人・日)(資源物を除く排出量)			658g(H22)	625g(H33)	628g	
事業系ごみ(単位t/年)(資源物を含む排出量)			1,754t(H22)	1,579t(H33)	1,996t	
重点的に進めていく協働の取組内容						
★マイバッグの推進(レジ袋削減など)			※★は市の重点的施策			
★生ごみの減量化						
○容器包装類や使い捨て容器の削減						
○エコクッキングの推進						

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

生ごみ処理機購入者に対して助成事業を実施しました。助成件数は前年実績(28件)を下回ったため、今後は制度の周知等により利用者増を図ります。

【助成実績 27件】

環境フェアなどのイベント時において、エコバックを配布し、ごみ削減の意識啓発を図りました。【配布枚数 100枚】

◆市の取組

ごみの削減を目的として、広報誌を通じてマイバックや生ごみ処理機の助成事業の周知を図りました。

○平成29年度の実施内容

生ゴミ処理機等助成事業を実施します。

マイバッグの事業を推進します。

容器包装等の削減に関する普及啓発活動を行います。

3-1-2 リユース・リペアの推進

環境指標	フリーマーケットの開催				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	身近にフリーマーケットが開催されるなどリユースが進められています。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
<ul style="list-style-type: none"> ○ リユース容器の活用推進 ○ フリーマーケットの普及 ○ リペアセンターづくり 					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

市民の不用品情報を紹介する不用品リサイクル事業を実施しました。譲渡成立件数は昨年度の実績（25件）を超えており、ごみ削減に効果がありました。

【譲渡成立件数 33件】

◆市の取組

天平の芋煮会【平成28年11月6日（日）】開催時に、リユース食器を使用した際の食器レンタル費用に対し補助金を交付しました。

（リユース食器利用促進事業）

○平成29年度の実施内容

リユース食器利用の促進を図ります。



天平の芋煮会で販売された芋煮
（皿と箸にリユース食器を使用）

個別目標 3-2 資源が循環するしくみづくり

3-2-1 リユース・リサイクルのしくみづくり

環境指標	最終処分率					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位
取組のめやす	—	9以下(H28)		8以下(H33)		%
実績値	10.1(H22)	10.2	10.6	9.5	10.8	%
達成率	—	88.2	84.9	94.7	83.3	%
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)
資源化率				24.4%(H22)	33%(H33)	22.0%
重点的に進めていく協働の取組内容						
★分別の徹底 ○資源物の集団回収の推進 ○店頭回収の推進 ○リサイクルセンターの整備と活用、リサイクルの推進				※★は市の重点的施策		

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

ごみのルールブックを作成し各家庭へ配布し、適正なごみの分別やごみの出し方について周知を図りました。



ごみのルールブック

※ごみ分類早見表などごみに関する情報を掲載した冊子です。

◆市の取組

資源物の集団回収実施団体に対して報奨金を交付しました。

【集団回収登録団体数 66 団体】

※資源物の種類 びん、ダンボール、新聞、雑誌、古布、アルミ、鉄など
 広報誌を通じて分別方法などの啓発を実施しました。

本市の区域内から発生する一般廃棄物の処理・処分について、長期的・総合的視野に立った基本となる事項について定めている「一般廃棄物処理基本計画」を改定しました。

○平成29年度の実施内容

資源の集団回収実施団体への報奨金の交付を行います。
 分別にかかる広報誌等への普及啓発活動を行います。

個別目標 4-1 省エネの推進

4-1-1 エネルギー消費量の低減

環境指標	省エネ行動の普及				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	家庭でのエネルギー消費量の低減が進められています。 省エネに係る取組で「いつもおこなっている」割合が全項目で向上しています。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
★節電の推進、ガス・灯油の使用量の低減など ※★は市の重点的施策 ★移動のエコ化(徒歩や自転車活用、公共交通機関利用の促進) ○クール&ウォームビズの推進、自然採光・採風・太陽熱利用など ○エコドライブの推進、自家用車利用の自粛					

環境指標	エコライフデーの開催 ※取組 5-1-2 環境保全活動の推進の指標を兼ねる				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	エコライフデーが設定(年1回以上)され、節電や省エネに関するエコイベントが開催されています。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
○エコライフデーの検討・実施					

環境指標	エネルギー使用状況チェックの普及、環境家計簿などの普及				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	環境家計簿などによりエネルギー使用状況をチェックし、省エネに活かしている家庭が増えています。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
★環境家計簿によるエネルギー消費量の把握とチェックの普及 ※★は市の重点的施策 ○省エネナビなど、電力エネルギー消費量表示機器の活用促進					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

しもつけ環境フォーラムにおいて、「COOL CHOICE とちぎ」による省エネ意識啓発や環境家計簿によるエネルギー消費量診断を実施しました。

【開催 平成29年2月19日(日)】

◆市の取組

第7回消費者まつりにおいて、省エネ相談やエコ製品の展示を実施し、多くの来場者に対して省エネ意識の啓発に取り組みました。【開催日平成29年1月22日(日)】

新庁舎整備にあたり電力管理システムを導入し、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減に努めました。今後は実績の検証を行い、PPS(特定規模電気事業者)との契約なども視野に環境に配慮した電力導入に努めます。

市の事務事業におけるエネルギー消費量及びCO₂排出量を算出し、下野市役所地球温暖化対策実行計画による省エネ対策の推進とCO₂排出量の削減を進めました。

○平成29年度の主な実施内容

しもつけ環境市民会議との協働事業である環境フォーラムの開催を継続します。環境に関する情報の提供により、環境への関心や省エネ行動の普及を促します。

4-1-2 環境に配慮した省エネ型製品の利用促進

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
○環境に配慮した省エネ型製品の利用促進	

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

温室効果ガス削減のため省エネ・低炭素型製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択を目的として環境省が展開する「COOL CHOICE」について、パンフレットや啓発グッズによる周知活動を実施し、省エネ型製品の利用促進を図りました。

◆市の取組

充電用電力の発電・送電・充電まで含めた電気自動車（EV）の省エネ効果についての情報収集と情報提供を行っています。

新庁舎移行に伴ってLED照明を導入しました。今後は長寿命化に向けて適正な施設管理に努めます。

下野市グリーン調達推進方針に基づき、庁内消耗品等への環境物品等を優先的に調達しました。製品的には割高な購入価格ですが、無駄を省き効率的な予算の使用を心掛けた結果、高い数字の実績を実現できました。【環境物品調達率 92%】

○平成29年度の実施内容

「COOL CHOICE とちぎ」などのキャンペーン協力により、省エネ製品について一層の普及を図ります。

「COOL CHOICE とちぎ」は、国が進める国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」に呼応し、温室効果ガス排出量の削減目標達成のため、省エネ・低炭素型の「製品」、「サービス」、「行動」等、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を栃木県民一人ひとりに広げ、県民総ぐるみの行動につなげていく取組です。

個別目標 4-2 創エネ・蓄エネの推進

4-2-1 蓄エネなどエネルギーの効率利用の促進

環境指標	住宅用太陽光発電システム設置補助金交付件数					※取組 4-2-2 再生可能エネルギーなどの利用推進の指標を兼ねる	
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位	
取組のめやす	—	累計750以上(H27)				件	
交付件数	261(H23)	551	700	800	892	件	
達成率	—	73.5	93.3	106.7	—	%	
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)	
市の施設への太陽光発電施設導入件数				4(H23)	現状より増加	13	
市の施設への太陽熱利用施設導入件数(発電、給湯含む)				1(H23)	現状より増加	1	
重点的に進めていく協働の取組内容							
★太陽光発電、小水力発電など再生可能エネルギー				※★は市の重点的施策			
○太陽熱利用、蓄電設備など蓄エネの普及促進							
○エネルギーの地産地消の推進							
○市民等による再生可能エネルギー活用の検討と推進							
○環境家計簿など、エネルギー消費量のチェックと低減化の促進							

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

太陽光の設置申請者に対して1kw(1.5万円)で上限4kwの設置費助成を実施しました。【助成件数92件】

補助金交付の目標値を達成しましたが、近年、太陽光の申請者が減少傾向にあるため次年度に向けて対象範囲の拡大を図るため設置範囲の拡大や増加を見込んだ交付金額の見直しなどを検討します。

◆市の取組

公共施設では災害時にも活用できる太陽光蓄電設備を備えたLEDの街路灯を設置し安全対策の強化を図りました。

市庁舎及び公共施設への太陽光発電設備の設置を実施しました。

【平成28年度 太陽光設備 体育施設1箇所】

【現在までの太陽光発電設備設置状況 市内12箇所(小学校4、中学校2、市庁舎1、道の駅しもつけ1、体育施設2、公園1、社会福祉施設1)】

【平成28年度に整備された市庁舎へ地中熱利用システムによる空調設備を設置】

下野市が開催するイベントにおいて、太陽熱の有効活用への意識啓発を行いました。

【生涯学習情報センターまつり 平成28年10月16日(日)】

【産業祭 平成28年10月23日(日)】

【消費者まつり 平成29年1月22日(日)】

【しもつけ環境フォーラム 平成29年2月19日(日)】

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（熱源より電力と熱を生産し供給するシステム）について、市役所窓口に啓発パンフレットを設置しました。

○平成29年度の主な実施内容

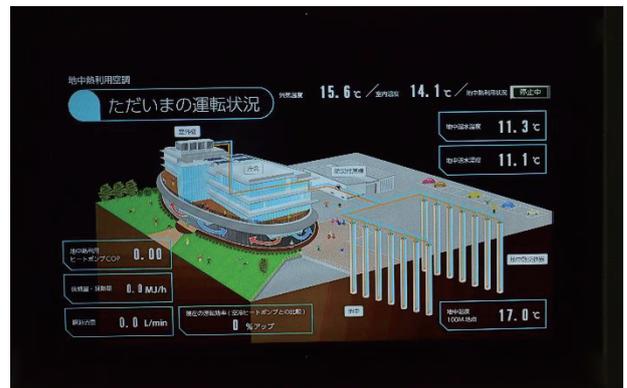
補助事業の見直しにより対象範囲の拡大（住宅の屋根だけでなくカーポートを含む）を図ります。公共施設については、太陽光の発電や省エネについての普及啓発活動を行います。



太陽光蓄電設備を備えたLED街路灯
(石橋体育センター)



屋上部に太陽光パネルが設置された市庁舎



地中熱を利用した空調設備（市庁舎）

個別目標 4-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進

4-3-1 快適な気候からなるまちづくりの推進

環境指標	市民1人当たりの都市公園面積					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	単位
取組のめやす	—	11.77(H27)				m ²
都市公園面積	7.78(H21)	8.89	9.03	13.54	13.51	m ²
達成率	—	75.5	76.7	115.0	—	%
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)
住宅地や施設の緑化・街路樹の植栽管理				—	—	推進中
重点的に進めていく協働の取組内容						
<ul style="list-style-type: none"> ○都市緑化などによる都市熱の緩和 ○クール&ウォームシェアに配慮したまちづくりの推進 ○エコイベントの推進 						

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

緑豊かな住環境の実現に寄与するため、生垣奨励補助を実施しています。

補助額：実費の2分の1 5万円以内 補助実績：平成28年度 0件

◆市の取組

新庁舎整備にあたり、市民広場など都市熱緩和に係る緑地帯を創設しました。

また、植栽ボランティア活動を通じ省エネ型まちづくりへの意識啓発につなげています。

道路照明の設置、修繕について、省エネルギー対策を目的に、主にLED照明を導入しました。公園街灯の修繕時に電球をLED照明へ切り替えました。

都市計画マスタープランの改訂に伴い、「実現方策」における「分野別の実現方策」の中で「土地利用・居住環境整備に係る実現方策」及び「自然環境の保全・活用に係る実現方策」を記載しました。

市民生活にとって重要な公共空間である公園の美化を目的とした愛パーク登録団体に対し美化活動に必要なゴミ袋、軍手等消耗品の購入等補助を実施しました。

【登録団体数5団体】

市内イベントで苗木の無料配布を行い、住宅地の緑化を推進しました。

【4月15日（金）春季苗木配布会（天平の花まつり） アジサイ300本配布】

【10月23日（日）秋季苗木配布会（産業祭） ブルーベリー300本配布】

○平成29年度の実施内容

生垣奨励補助を継続することにより、緑化を推進し緑豊かな潤いのある生活環境の実現を図ります。

4-3-2 省エネ・創エネ・蓄エネ型まちづくりの推進

環境指標	鉄道・バスなど公共交通の便利さ(満足度)				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	47.3% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合が向上しています。			
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
自転車の利用しやすさ(満足度)	42.2% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合の向上	—		
重点的に進めていく協働の取組内容					
<p>★歩道・歩行環境の確保、自転車通行帯、自転車道・駐輪施設の整備 ※★は市の重点的施策</p> <p>○公共交通機関利用の推進、バスなど公共交通機関の利便性向上</p> <p>○エコイベントの推進</p>					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

市内各駅周辺に設置してある自転車駐車場の管理を行うとともに、駅周辺における自転車の放置を防止することにより交通環境を確保し、交通の安全と併せて美観保持を図りました。



小金井駅東自転車駐車場

◆市の取組

良好な自転車利用環境を目的とした、田川及び姿川のサイクリングロードの除草など適正な管理を管理業者のほか、地域のボランティア・PTA等の市民協力を得て行いました。

デマンドバスの運行について、平成28年3月に見直した公共交通総合連携計画に基づき、運行日や時間帯等の変更を行い利便性の向上を図りました。

【年間利用者数 23,554人】

観光自転車を配置し、自転車による観光地巡りを進めています。

○平成29年度の実施内容

市内自転車駐車場の管理と駅周辺の放置自転車防止に努め交通環境を確保し、交通安全と美観保持を図ります。

個別目標 5-1 環境学習・環境保全活動の推進

5-1-1 環境教育・環境学習の推進

環境指標	環境学習機会の充実(環境学習センターの整備) ※取組 5-1-2 環境保全活動の推進の指標を兼ねる				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	いつでも、さまざまな環境問題について学習できる場があり、学び、環境にやさしい活動が進められています。				
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
環境副読本の作成、環境学習教材の整備	—	—	—		
重点的に進めていく協働の取組内容					
○勉強会などの促進					
○環境講座・出前講座・体験学習の充実、環境学習への参加機会の提供					

環境指標	しもつけの環境を学ぶイベントの充実 ※取組 5-2-1 環境交流の促進の指標を兼ねる				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	市民団体と市及び県が連携した環境学習やイベントが充実し、多様な環境学習機会があります。				
重点的に進めていく協働の取組内容					
★蔓巻公園の環境学習拠点化と活用(環境学習センターの整備) ※★は市の重点的施策					
○しもつけの環境を学ぶイベントの充実					
○環境副読本・環境情報など環境学習教材の整備と提供					

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

環境学習に関する図書の企画コーナーの展示を行いました。

太陽光発電やリサイクルシステムなど環境に関する幅広い分野の書籍を展示し、市民の環境保護に対する意識を高めることができました。

また、環境に関する図書資料の利用促進につながりました。

◆市の取組

下野市農産物を利用し、安心・安全な給食を提供しました。

食育だよりの発行を行いました。

環境学習に関する研究、社会科副読本の編集を行いました。

○平成29年度の実施内容

環境学習に関する図書の企画コーナーの展示を行います。

公民館での環境学習を実施します。

個別目標 5-2 環境パートナーシップの形成

5-2-1 環境交流の促進

環境指標	環境フォーラムなどの定期開催			
	計画策定時	H25	H26	H27
取組のめやす	毎年1回開催 多くの市民、市民団体が参加し、環境交流を深めています。			
重点的に進めていく協働の取組内容				
<ul style="list-style-type: none"> ★環境フォーラムなどの定期開催と参加促進 ※★は市の重点的施策 ★市民団体との連携によるエコイベントの実施 ○環境学習・環境保全活動機会の提供と参加促進 ○エコイベントなど環境に関するイベントの充実と参加促進 ○県との連携によるエコイベントの実施 				

○平成28年度の取組状況

◆協働の取組

しもつけ環境フォーラムを平成29年2月19日(日)に開催し、講演及び事例発表を行いました。市内の協働による環境保全・創造活動の今を検証すること、また一般の市民の方に活動を知っていただくことにより環境活動の担い手を確保することを目的として、協働のパートナーである「しもつけ環境市民会議」と互いの持ち味を生かした企画内容となるよう話し合いを重ねイベントを開催しました。



行政や市内外の環境活動団体、市民等との連携によるエコイベントの実施や協力など、幅広い環境交流の機会を充実し、環境パートナーシップの啓発と普及に努めました。

【生涯学習情報センターまつり 平成28年10月16日(日)】

【産業祭 平成28年10月23日(日)】

【消費者まつり 平成29年1月22日(日)】

◆市の取組

本市の大気・水・土壌の環境状況や生物生息状況などの環境調査結果、基本計画の進捗状況を取りまとめた「環境報告書」をホームページで情報発信を行いました。

○平成29年度の主な実施内容

環境フォーラムを開催します。



しもつけ環境市民会議
マスコットキャラクター
【エコッピ】

個別目標 5-3 環境調査・環境情報の整備と発信

5-3-1 環境調査の推進・調査結果の公開

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○環境調査の実施・調査結果の整備 ○環境状況、計画の進みぐあいの整理(環境報告書の作成など) ○市民等の環境保全行動の情報整理、他 	

5-3-2 環境情報の整備と発信

環境指標	環境の状況に関する情報				
	計画策定時	H25	H26	H27	H28
取組のめやす	環境に関する調査・測定結果の情報が提供されています。				
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)		
計画の進みぐあいに関する情報	—	情報提供	情報提供		
環境保全活動に関する情報	広報・HPで発信	広報・HPで発信	広報・HPで発信		
市民等の環境保全への取組事例(紹介)	—	事例紹介	事例紹介		
重点的に進めていく協働の取組内容					
★「しもつけの環境」としての環境報告・環境情報の整備及び市のホームページでの発信 ※★は市の重点的施策 ○環境学習教材の整備・充実(再掲)					

○平成28年度の取組状況

◆市の取組

本市の大気・水・土壌の環境状況を把握し、生物生息状況などの環境調査を進め、ホームページでの報告を実施しました。

○平成29年度の実施内容

環境報告書の作成及びホームページへの掲載を行います。

しもつけの環境（環境状況報告書／平成29年度版）

発行年月 平成30年1月

発行 〒329-0492

下野市笹原26

下野市市民生活部環境課

電話 0285-32-8898

E-mail kankyou@city.shimotsuke.lg.jp

